

翼をありがとう

福島県骨髄バンク推進連絡協議会 会報

No.5

平成4年7月10日

■発行■

福島県骨髄バンク推進連絡協議会・会報編集委員会
福島市北沢文字線6-1
TEL 0245-58-4040

■発行責任者■

陽田秀夫

設立趣意書

一部の白血病や重症再生不良性貧血等に対して有効な治療法である骨髄移植を推進するためには、非血縁者からの善意による骨髄提供を可能にする骨髄バンクが必要であります。

関係者の要望が実り、昨年12月に財団法人骨髄移植推進財団が設立されたことによる公的骨髄バンク事業がスタートしました。

平成3年6月7日に発表されました骨髄移植対策専門委員会の中間報告によりますと「広くドナーを募るためには地域における骨髄移植に関する正しい知識の普及が必要である。このためには、国・地方自治体（都道府県・市町村）、第三者の組織（骨髄移植推進財団）のみならず、ボランティア団体等の協力的な活動を行うことが重要である。」となっています。

制度としての骨髄バンクが円滑に機能して行くためには、提供希望者登録を含めた社会的理解がより重要であります。

このため、私達は骨髄移植や骨髄バンクの正しい知識の普及啓発に努めることを目的に、骨髄バンク事業に対する協力団体として、ボランティアによる福島県骨髄バンク推進連絡協議会を設立しようとするものであります。

趣旨御理解の上、ご支援ご協力をお願い申し上げます。



会場では真剣な討議がつついた



受付風景



会長に就任した太田さん

治療の機会、誰にも！ 会報に就任して 太田 緑子

骨髄移植を希望しながら、大変な生活を送る患者さん、ご家族の方々に、心を通わすことができました。昨年、国の主治のもと、財・骨髄移植推進財団が設立され、公的骨髄バンク事業を開始されたことにより、こうした患者さんにとっては大変な朗報になりました。

今後は、公的骨髄バンク事業を主体的に推進する「財」事業と、民間の骨髄バンク事業を支援する「協」事業とを両輪として、福島県、関係医療機関の協力を得ながら、広く市民の皆さんに、骨髄バンクについてのご理解をいただくよう努力して行きたいと思っております。関係各位のご協力をお願い申し上げます。

私は高齢者でもあり、大変責任の重い会長ですが、骨髄バンク事業の創世期でもあり、大変熱意あるボランティアの皆さんの一助に、目的達成のため少しでもお役に立てることを心掛けてお受けすることにしました。

全国骨髄バンク推進連絡協議会の第1回定例会合が、五月二十三日、江東区勤労福祉会館で開催され、現在まで宮城県・山形県・前橋市の会長と海部幸世氏（前総理事）が選出され、選任委員会も設置され、新体制が運動の第一歩を踏み出したことになりました。

全国協議会会長に
海部 幸世 さん



海部 幸世 さん

福島県骨髄バンク推進連絡協議会
事務局 〒860 福島市北沢文字線6-1(赤湯方) TEL & FAX 0245-58-4040

県北支部

〒980
福島市北沢文字線6-1(赤湯方)
TEL & FAX 0245-58-4040

郡山支部

〒963-07
郡山市田代町金堂字上川原129-1(赤湯方)
TEL & FAX 0249-44-5762

いわき支部

〒873 いわき市内緑町久世町1
141(赤湯方) 福島県いわき市緑町久世町1
TEL 0246-26-3151(内2350)



福島県骨髄バンク推進連絡協議会 念願の設立総会大盛況に

五月二十四日（日）、福島市常町の労働福祉会館において「福島県骨髄バンク推進連絡協議会」の設立総会と記念講演が開催されました。

運動は全県にひろがる
総会では、発起人代表挨拶の後、議長を演出し、会則その他の議案について、それぞれ原案どおりに承認されました。

設立総会後、来賓挨拶の後、設立総会講演として、福島県立医科大学小児科の菊田敦先生が「一般市民、医療関係者、患者家族、骨髄バンク推進ボランティア、太田緑子氏」を会長に選出した。福島県内における骨髄バンク推進のボランティアグループとして、新しい発足をしました。

来賓として、福島県医務課の南澤大二郎課長、福島県立医科大学の伊藤司学長、丸山幸夫氏（福島県医師会会長）が出席し、骨髄移植を希望しながら、大変な生活を送る患者さん、ご家族の方々に、心を通わすことができました。昨年、国の主治のもと、財・骨髄移植推進財団が設立され、公的骨髄バンク事業を開始されたことにより、こうした患者さんにとっては大変な朗報になりました。

このため、私達は骨髄移植や骨髄バンクの正しい知識の普及啓発に努めることを目的に、骨髄バンク事業に対する協力団体として、ボランティアによる福島県骨髄バンク推進連絡協議会を設立しようとするものであります。

趣旨御理解の上、ご支援ご協力をお願い申し上げます。

私は高齢者でもあり、大変責任の重い会長ですが、骨髄バンク事業の創世期でもあり、大変熱意あるボランティアの皆さんの一助に、目的達成のため少しでもお役に立てることを心掛けてお受けすることにしました。

全国骨髄バンク推進連絡協議会の第1回定例会合が、五月二十三日、江東区勤労福祉会館で開催され、現在まで宮城県・山形県・前橋市の会長と海部幸世氏（前総理事）が選出され、選任委員会も設置され、新体制が運動の第一歩を踏み出したことになりました。

心からのご寄付をありがとうございました 平成4年1月～5月受付分 (順不同 敬称略)

いわき骨髄バンク推進連絡協議会
への御寄付

募金

大野技研システム(株) 10,000
(有) 工務ジゴロウ 1,165
平バテラスト教会 天野輝彦 10,000
生駒長子 1,000
(社) いわき平青年会議所 65,000
いわき物産ライオンズクラブ 20,000
吉田治彦 1,550
共立H.P.免疫血清室 2,924
小田桐敏子 5,000
安斎一夫 10,000
共立H.P.内科外来 5,619
斉藤 謙 50,000
レストランラジアル基金箱 4,083
共立H.P.東7階 土屋 2,218
武田勝正 8,535
村田工業所 村田 信 100,000

切手・ハガキ・テレカ

(有) 工務ジゴロウ (は) 33枚
共立H.P.検査 原部仁美 (切) 3,100円
藤井始子 (切) 600円 (は) 58枚
宇留賀一夫 (は) 36枚
東立隆大 吉田雪彦 (切) 5,780円
(財) 会田病院 柳沢 (は) 9枚
徳蔵院 (は) 146枚
吉田治彦 (は) 94枚
斉 敏明 (は) 22枚 (テ) 1,500円
匿名 (は) 23枚

渡辺清美 (は) 51枚
匿名 (は) 7枚
(社) 常磐青年会議所 (は) 161枚
匿名 (は) 83枚
吉田直恵 (切) 2,000円
福田ヨウ子 (は) 61枚
いわき赤十字血液センター(切) 4,310円
榊林 庵 (切) 33,180円
木田隆敏・千代子 (は) 15枚

福島骨髄バンク推進連絡協議会 への御寄付

5月24日 受付分
(財) 太田総合病院
理事長 太田緑子 100,000
斉藤 謙 50,000
福島県財団法人病院協会 50,000
(社) 福島県病院協会 50,000
(株) 菅家経営センター
税理士 菅家敬右衛門 30,000
福島県赤十字血液センター
所長 渡辺君雄 10,000
半澤正子 10,000
渡辺俊安 10,000
須田正男 5,000
橋本 龜 1,575
切手 1,219円
図書カード 500円×2枚
テレカ 500円×5枚
糸原里志 3,000
高野博也 2,000
七島 勉 1,000

高沢正一 1,000
高沢千枝子 1,000
三瓶たつ子 1,000
山本省吾
田中光子
千葉真也
その他
(無記名分)
1月～4月受付分
島井哲志・範子 10,000
東庁住宅課一同 28,227
赤間洋介 留守録付電話器

郡山支部受付分(3月～5月)

坂本豊和 50,000
太田昌孝 50,000
吉野四郎 5,000
横田秋男 5,000
伊藤達雄 5,000
松永 勇 5,000
二瓶左官 5,000
ワークマン方八町店 平野 8,000
森合美智子 2,000
長栄会 30,000
藤山寿寿 5,000
野木実男 5,000
井戸川輝子 5,000
山口剛蔵 5,000
小野 力 5,000
鈴木 章 5,000
鈴木博也 5,000
古橋栄吉 5,000

二瓶志志 5,000
安積商工会館講演会時の募金 16,609
大谷貴子 10,000
中堀由希子 10,000
平成3年度卒業生父兄一同寄付
(日大東北高) 51,402
博田昭文 6,636
光達電気(株) 佐々木達子 30,000
(有) ミサト製作所 30,000
小泉繁直 907
渡辺三郎 30,000
金屋第二スポーツ愛好会 3,000
近藤勝子 5,000
星 道子 2,000
(株) マルコン紙機 20,000
(株) 藤信製作所 30,000
石渡吉雄ビデオカメラ屋(ライト付)
いわき支部よりテレホンカード(100枚)
栄光ジャンパー購入のための募金
(1口5,000円)

郡山ポルト 2口
田村木材 2口
吉野四郎 2口
藤山住吉 2口
二瓶左官工業 1口
丸手防工事 2口
横田秋男 2口
坂本豊和 2口
清水照男 (は) 81枚
玉城ヒデ (切) 600円

切手・ハガキ

東海骨髄バンク理事 大谷 貴子 さんの

「霧の中の生命」 発売

¥1,400

ご希望の方は事務局までお申し込み下さい。



20代の青春期に白血病との闘いと骨髄バンクの設立に注いだ大谷さんのひたむきな生き方に、私は感動した。
骨髄提供という「善意」が確実に白血病患者にいのちの救済につながるのだということ、そして劇的な治療経過の詳細に、読者は驚嘆するに違いない。
多くの人がこの貴重ないのちの再生の記録を読み骨髄バンクに関心を持つようになることを期待したい。

作家 柳田 邦男

骨髄提供希望者・申込・登録件数 (平成4年5月末現在)					
登録申込件数(ハガキ)			データセンター登録数		
都道府県別	対人口比	実数	都道府県別	対人口比	実数
①広島	1:4,349	656	①東京	1:7,762	1,531
②東京	1:5,545	2,143	②広島	1:9,510	300
③岡山	1:5,798	333	③岡山	1:10,848	178
④愛媛	1:6,398	189	④北海道	1:11,642	487
⑤神奈川	1:6,565	1,195	⑤京都	1:13,432	194
⑥福島	1:8,532	246	⑥福島	1:24,988	84
全 国	1:9,938	12,402	全 国	1:19,570	6,289

ねむっていませんか?切手・はがき

書き損じのはがき・使う予定のない切手・はがきをくださいませんか

骨髄バンク運動に有効利用します

郵送先 〒973 福島県いわき市内緑町久世町1(いわき市立総合骨髄バンク提供・献血センター内)
いわき骨髄バンク推進連絡協議会 26-3151(内2350)

